

題名	協調問題解決に基づくインターフェース実験システム --- 地図情報検索システム ---
目的	ユーザインターフェースという実際的な適用分野を通じて協調問題解決のメカニズムについての研究開発を行い、協調問題解決のパラダイムによるフレキシブルなインターフェースの実現を目指す。
概要 及び 特徴	<p>[概要] 地図情報検索システムのユーザインターフェースを例に、黒板モデルをベースにした協調問題解決の枠組みを利用したフレキシブルな会話の実験を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 柔軟なインターフェース：会話の進行に応じて各エージェントは独自な処理を行い、全体としてユーザとのインターフェースを司る。 (2) 動的な推論制御：全体の推論制御は前もって細かく規定されていないので、システムに未知な状況にたいして対応出来る。 (3) 簡便な入力：ウインドウを共用した入力部と表示部との共同作業により、簡便な入力が実現出来る。 <p>[特徴]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・協調的な会話主導権制御の基本的な枠組み 利用者主導型の会話機能（入力部）とシステム主導型の会話機能（表示部）とを協調させながら会話を進めるための基本的な枠組みである。 ・黒板モデルによる並列動作環境 黒板を利用したエージェント間の通信により、各エージェントは他を直接意識することなく、並列に動作しうる環境である。
構成	<pre> graph TD UI[ユーザ インターフェース] --> IOWC[入出力ウインドウ制御プロセス群] IOWC --> INP[入力部] IOWC --> DISP[表示部] INP <--> BB((黒板)) DISP <--> BB BB <--> DCU[対話制御部] DCU --> GISE[地図情報検索エキスパート] </pre> <p>The diagram illustrates the system architecture. At the top is the "User Interface" (ユーザ インターフェース). A line from it goes down to the "Input/Output Window Control Process Group" (入出力ウインドウ制御プロセス群). From this group, lines branch down to the "Input Department" (入力部) and the "Display Department" (表示部). Both the Input and Display departments have bidirectional arrows pointing to a central oval labeled "Blackboard" (黒板). Below the Blackboard is the "Dialogue Control Unit" (対話制御部), which has a downward arrow pointing to the "Geographic Information Search Expert" (地図情報検索エキスパート) at the bottom.</p>

デモ 内容 (1/3)

(1) 柔軟なインターフェース

会話の進行に応じて各エージェントは独自な処理を行ない、全体としてユーザーへのインターフェースを司る。

動作例：ユーザーが自由な手順で「人口が国分寺市より多い市区町村」を選択する。

●検索条件入力 (入力 "ko")

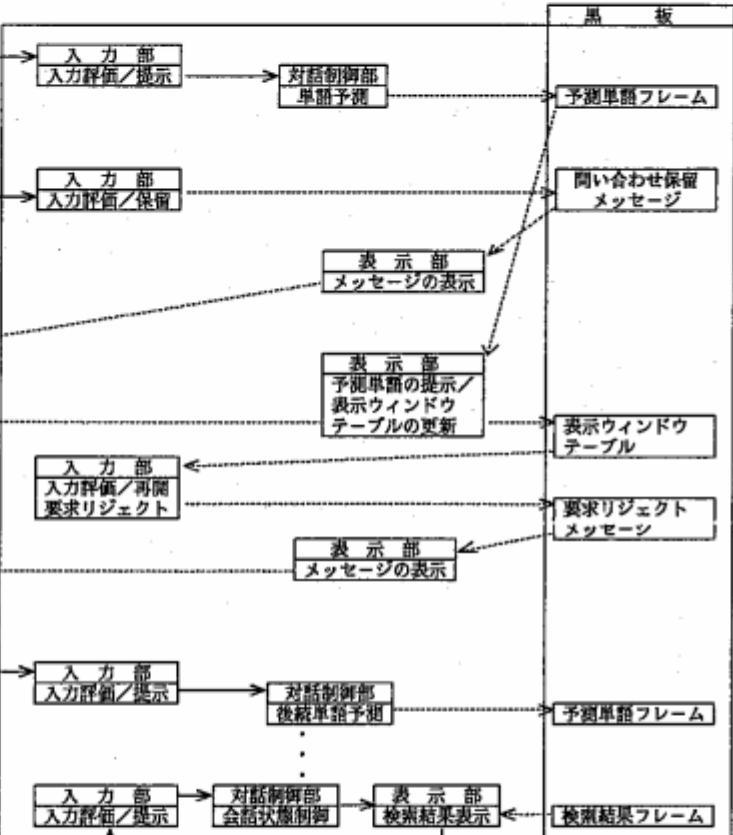
名前	ko
人口	人口
面積	面積
郵便番号	郵便番号
条件	条件... do_it abort

●検索開始指示

名前	ko
人口	人口
面積	面積
郵便番号	郵便番号
条件	条件... do_it abort

MESSAGE :
しばらくお待ち下さい。
estimation
国分寺市
小金井市
小平市
国分寺市

MESSAGE :
先の要求は、現在受け付けられません。



●予測単語選択

estimation
国分寺市
小金井市
小平市
国分寺市

●検索開始指示

hold
() 基示 明示 検索 判斷 1/0
主画面メニュー
市区町村選択して知りたい 道に迷って知りたい 行楽地に関して知りたい 終了
do_it abort

表示結果一覧
▶◀▶◀止 リスト 2/37
名前
人口
面積
郵便番号
条件
do_it abort

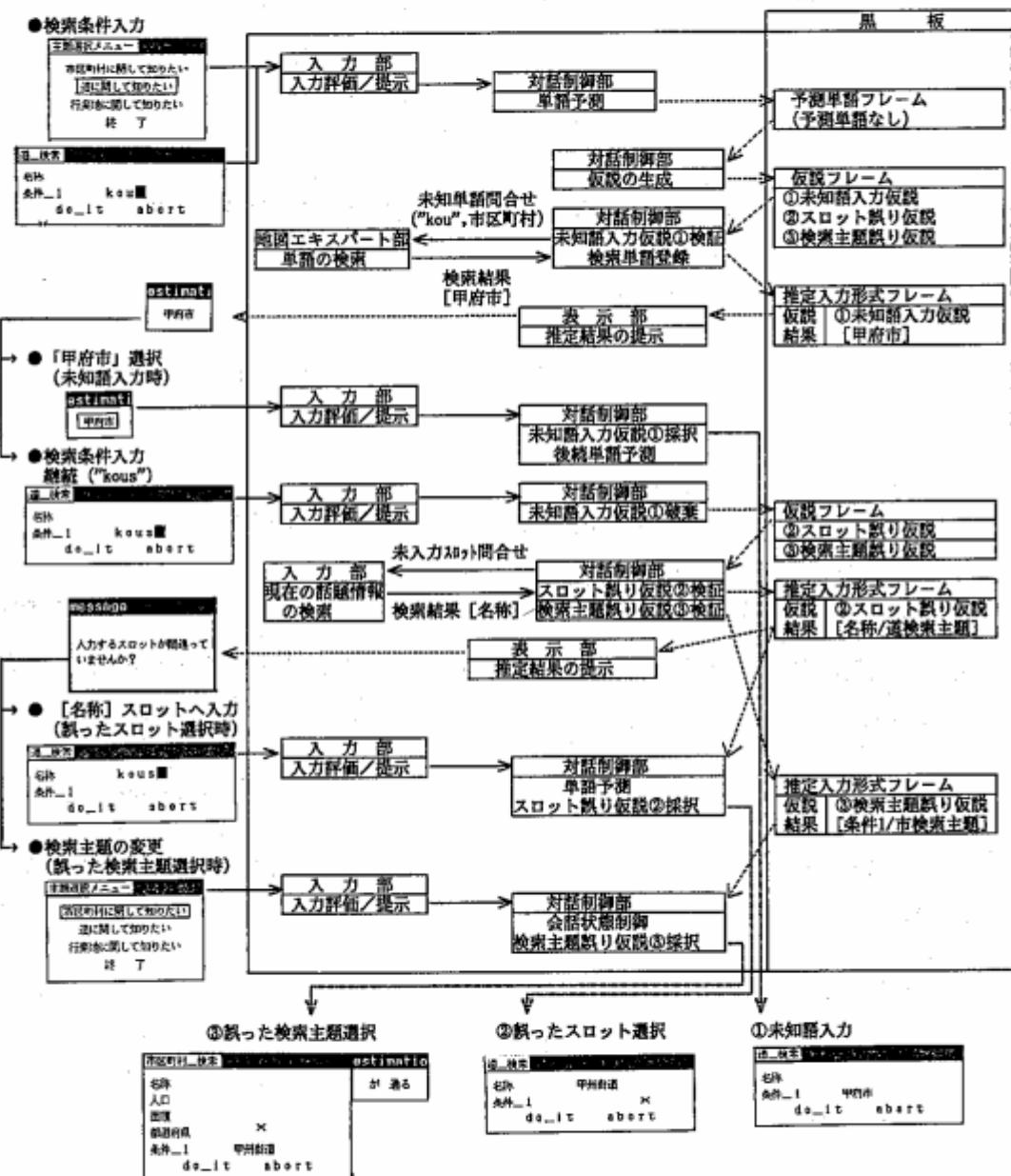


デモ内容 (2 / 3)

(2) 動的な推論制御

全体の推論制御は前もって細かく規定されていないので、システムに未知な状況に対しても対応できる。

動作例：システムに未定義な入力形式で検索条件が入力された場合、推定されるいくつかの可能性を検証しながら会話を進める。



デモ内容 (3/3)

(3) 簡便な入力

ウィンドウを共用した入力部と表示部との共同作業により、簡便な入力が可能。

- 予約単語の表示ウインドウからの単語入力

概念間の関係知識に基づいて予測・表示された単語を選択して入力できる。

概念間の関係知識: relation(属性, 参照_概念, 関係, 対象_概念)

relation(名称, 市区町村, non, 市区町村)

relation(人口, 行政域, 比較詞3, 行政域)

relation(人口, 数量詞, 比較詞1, 行政域)

relation(面積, 数量詞, 比較詞1, 行政域)

動作例 (入力"ko"から予測・表示された市区町村名を選択する)



- 表示図形上の位置指定入力

表示された検索候補地の地図上の位置を直接指定して検索を進める。

動作例 (地図を見ながら、家族づれでの行楽地を探す)

